

普及活動情勢報告（令和３年７月分）

幡多農業振興センター農業改良普及課

コロナに負けずに、いいユズつくろう！

・・・JA中村支所柚子部会現地検討会・・・



6月23日、四万十市三ツ又地区でJA中村支所柚子部会の現地検討会が1年振りに開催され、農家、関係機関17名が参加しました。

JAからは、補助事業や新たな資材について、農業改良普及課からは、管内で初確認されたハナアザミウマと、近年問題化している「えくぼ症」の対策について情報提供しました。出席者からは、凹型虎斑症の対策についての質問もあり、各人が防除のポイントを確認できました。

農業改良普及課では、秋口にかけてユズの病害虫の被害軽減に取り組んでいきます。

幡多地域の農福連携の推進に向けて！

・・・令和3年度第1回幡多地域農福連携協議会・・・



6月24日、中村合同庁舎で第1回幡多地域農福連携協議会を開催し、管内8福祉事業所、10相談支援事業所をはじめ、関係機関35名が参加しました。

会議では、国の施策や県の実施をWebで説明した後、JA大方南部支所での農福連携の取組事例について紹介されました。農業改良普及課からは、福祉事業所へのアンケート結果と今後の取組計画を説明しました。

意見交換では、農福連携に取り組んだ感想、閉鎖した保育園の作業場としての活用などの提案、助成金に対する質問等がありました。

農業改良普及課は、協議会活動を通じて、幡多地域の農福連携を進めていきます。

法人化に向けて手続き等を学ぶ！

・・・黒尊川営農組合役員会・・・



6月25日、四万十市奥屋内地区で黒尊川営農組合の役員会が開催され、役員と関係機関9名が参加しました。

農業改良普及課からは、法人化への事務的な手続きについて事例を出しながら説明した他、果樹のドローン防除について最新の情報を提供しました。その後、法人組織の運営方針やドローン防除の実証ほ設置について協議しました。

農業改良普及課では、今年度内の法人設立に向けて支援していきます。

普及指導活動の効率化に向けて！

・・・第1回地区農業改良普及推進協議会・・・



6月29日、中村合同庁舎で第1回農業改良普及推進協議会を開催し、農家代表や関係機関13名の参加がありました。

農業改良普及課から、今年度の普及指導計画や基盤整備等について説明後、担い手育成、農福連携について意見交換を行いました。

委員からは、「収量を上げることが目標となっている作物も多いが品質や売りに繋がる取り組みも必要ではないか」、「部会としても新規就農者の確保が課題であり、研修の時から交流も必要だが、募集の段階から関わっていききたい」等活発な意見がありました。

農業改良普及課は、委員から出た意見を今後の普及活動に反映し、地域や農業の課題解決に取り組みます。

自己チェックのための衛生管理計画を作成しよう！

・・・HACCP研修会・・・



7月5日、中村合同庁舎で安全かつ衛生的な食品を製造するための管理方法の1つであるHACCP研修会を開催しました。幡多福祉保健所の職員2名を講師に招き、管内の加工グループ及び事業者32名が参加しました。

幡多福祉保健所から、改正された食品衛生法を説明した後、HACCPに基づく衛生管理計画作成の実習を行いました。参加者からは「この項目には何を書くの？どこが違うの？」、「包装した惣菜の販売は惣菜製造業の営業許可だけでいいの？」などの質問がありました。

農業改良普及課は、事業者が継続的に衛生管理の改善に取り組むよう支援していきます。

収量UPをめざして！

・・・飼料用米有望品種現地検討会の開催・・・



7月6日、宿毛市平田地区の実証ほで飼料用米有望品種現地検討会を開催し、農家、関係機関9名が参加しました。

農業改良普及課では、飼料用米の収量増加を目指して、飼料用米に適した多収品種、最適な施肥量を検討するために、管内数カ所で実証ほを設置しています。

現地検討会では、試験品種の特性、生育状況について説明した後、参加者で、稲姿を確認し、栽培管理方法について質問や意見交換を行いました。

農業改良普及課は、今後、収量調査を行い、有望品種の選定と普及に取り組んでいきます。